

静岡市ろうあ協会報

第002号

発行所 静岡市葵区城内町1-1
静岡市中央福祉センター
発行人 小泉 秀力
編集人 森 匡之
発行日 平成19年10月09日

清水昼ブロック・夜ブロック交流会



写真:清水昼ブロック代表・黒澤さんの挨拶

7月7日(土)に清水テルサ8階にあるブランオーシャンにて、清水昼ブロックと清水夜ブロックの交流会が行われました。

参加者は清水昼ブロック12名、清水夜ブロック3名の合計15名が集まりました。

この日は、あいにくの悪天候でテルサ最上階から清水港、そして富士山を眺める事はできませんでしたが、それを感じさせないほどの充実したトークで時間もあっという間に過ぎ去っていきました。

同じ清水区とは言えども、昼ブロックは年配の方が、夜ブロックは若い人が多いと言った、年齢層に差があつてか、今までお互いに顔を合わせる機会が少なかったですが、これを機に交流を深める事ができました。

平成19年度静岡県聴覚障害者協会幹部研修会



写真:司会をつとめた池永従宏さん

7月22日(日)に、はーとぴあ清水にて平成19年度静岡県聴覚障害者協会幹部研修会が行われました。

午前の部は、全日本ろうあ連盟評議員会分科会報告があり、体育部、防災対策部、ろう教育対策部、福祉対策部、などの各担当がそれぞれ報告しました。また、参加者から質疑応答があり、関心の高さがうかがえました。続いて、伊藤会長より全日ろう連の組織改革に関する話もありました。

午後の部は、世界ろう連盟名誉理事の高田英一氏をお迎えし、「障害者権利条約について」を講演していただく予定でしたが、講師の都合により中止となりました。代わって「防災について」をテーマにした情報交換が行われました。

情報交換の内容は、危機管理情報サービスを提供する「レスキューナウ」に関する討議が中心でしたが、現状は「レスキューナウ」に登録していない方が結構いらっしゃるようです。レスキューナウは、地震や台風など気象に関する注意報、警報をリアルタイムで携帯電話のメールに送信されるだけでなく、日々の天気予報を毎朝の決まった時間に送信されるなど、日常生活にも役立ててくれます。

レスキューナウの問い合わせは…静聴協事務局まで

政見放送を見る会

7月29日(日)の参議院選挙に先立って、静岡市内各地にて、以下のスケジュールで「政見放送を見る会」が行われました。

7月17日(火)

- ・はーとぴあ清水(13:00～14:00)
- ・中央福祉センター(14:00～15:00)

7月18日(水)

- ・はーとぴあ清水(19:00～20:00)

7月25日(水)

- ・中央福祉センター(19:30～20:30)



写真: 政見放送の様子(清水・夜)

政見放送の内容は、立候補者5名の演説を手話通訳者が別枠で説明するというものでした。また、政治用語の手話もいくつか取り入れられています。

実際はこのような政見放送を導入するにあたって、公職選挙法に触れる部分があったりと色々な問題がありますが、聴覚障害者にとっては立候補者の声が聞ける貴重な機会になったのではないのでしょうか。ただ、今回のように決まった時間、場所にわざわざ行くよりも、自宅などで聴覚障害者に対しても内容のわかる演説を聞くのが本来の参政権ではないかと考えます。が、先にも書いたように公職選挙法の影響でそうはいかないのが現状のようです。

また、7月27日(金)静岡新聞朝刊29面に、7月25日(水)の政見放送の様子やその取材が掲載されています。

静岡デフ映画祭り「迂路」上映会 & トークショー



写真: 大館監督(右)と那須氏(左)のトークショー

8月4日(土)に、はーとぴあ清水にて静岡デフ映画祭り「迂路」上映会 & トークショーが行われました。

映画の上映時間は約60分でしたが、そのほとんどが手話だけで音声は入っていないという、いわゆる「サイレントムービー」ものでした。この映画を視聴した健聴者も「ろう者」の観点として見る事ができたのではないかと思います。また、トークショーは、大館監督と那須氏のユーモアある、漫才のようなトークで観客を楽しませてくれました。

いずれも、午前の部と午後の部に分かれて行われ、合わせて約300人以上の観客が集まりました。また、販売ブースでは、大館監督、那須氏のサイン会も行われ、大盛況に終わりました。

また、今回のチケットの売り上げの一部は県内の下記3団体へ寄付されます。

- ・ありんこの里をつくる会
- ・遠州みみの里
- ・まつぼっくりの家

<迂路メモ>

トロント国際ろう映画祭り2006大賞 & 長編部門最優秀賞 受賞。

労働に関わる学習会



写真:中嶋宇月氏の講演

8月26日(日)に、静岡市役所清水庁舎にて「労働に関わる学習会」が行われました。

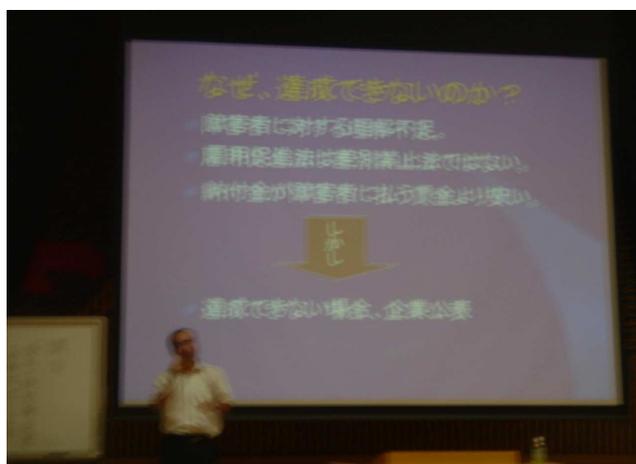
内容は、愛知県聴覚障害者協会労働対策部の中嶋宇月氏を講師にお迎えし、「愛知県の聴覚障害者の労働状況と活動」をテーマに講演していただきました。

講演の内容は、愛知県の聴覚障害者の雇用及び労働状況と活動についてを中心にお話しされ、また愛知県聴覚障害者協会労働対策部としてどのように考えているのか、の説明もありました。

中嶋宇月氏の講演終了後は、講師を交えての討論会が行われ、テーマは「解雇」をキーワードに進められました。

時間の都合で話がまとまらなかった部分もありますが、「解雇される側」の立場を少しでも知る、良い機会になったのではないかと思います。

最後に、ハローワークの手話協力員の紹介も行われました。



上写真:講演の様子



写真:討論の様子

女性部

◇実施日 9月2日(日)

◇目的地

◇参加人数 24名(内訳:清水4名、静岡4名、ろうあ者14名、通訳2名)

観光をはじめ、食べ放題、試飲などを色々見てまわったので、腹がいっぱいになりました。最後にぶどう狩りへ行き、ぶどうを1個サービスしてくれましたが、大きくて全部食べ切れませんでした。でも、ぶどうは甘くておいしかったです。

昨年比べて、若い女性のろうあ者の参加が増えてきたうえに交流できてよかったです。

来年は温泉へ行きたいと思います。

(上野 直江)

第60回清水みなと祭り



写真:総踊りの様子

◇実施日 8月4日(土)

◇場 所 さつき通り(静岡市清水区)

清水の伝統ある「みなと祭り」も今年で記念すべき60回を迎え、今回は女性部の会員を中心に清水区の手話サークル「たつのこ会」と合同で参加しました。

日頃の踊りの練習の成果を披露するだけでなく、たつのこ会の会員との交流を深めるなど大変有意義な内容だったと思います。

また、総踊りの内容も年々進化していき、踊りのテンポも多少速くなりますが、いい運動になると思います。

来年はぜひ参加を！

ふくしのまつり2007



写真:女性部のバザーの様子

◇実施日 9月23日(日)

◇場 所 マリンパーク(静岡市清水区)

今回は女性部がバザーに参加しました。

この日の天候は下り坂、しかも3連休の中日という事もあり、客足の動きが気になるころでしたが、この日も大勢のお客さんに来て頂き、盛況に終わる事ができました。

また、手話サークル「たつのこ会」担当の手話教室もろう協会から数名が講師の手伝いにいらしました。ご協力してくださった方、ありがとうございました。

たつのこ会の手話教室をはじめ、他に火曜の会、ありんこの会がそれぞれバザーを出しました。

しずおか元気応援フェア2007



写真:手話教室の様子

◇実施日 9月29日(土)、30日(日)

◇場 所 ツインメッセ静岡北館(静岡市駿河区)

静聴協として手話教室に参加しました。

この日は、ろう協の会員をはじめ、蒲原～静岡の各手話サークルから数名が手伝いにいらしました。

手話教室に参加するだけでなく、なかなか顔を合わせない方に対してもこれをきっかけに交流を深める事ができたのではないのでしょうか。

また、この日は、五輪にも出場した静岡出身の体操選手、水鳥選手のトークショーをはじめ、タレントの西城秀樹氏のトークショーなどが行われました。

政令指定都市身体障害者ボウリング大会



写真:ボウリング大会の様子

9/1(土)~9/2(日)、広島市で行われた政令指定都市身体障害者ボウリング大会に、ろう協からは代表として小泉会長、選手は吉川(清水ブロック)、福島(東部ブロック)が参加しました。

1日目は分科会、2日目はボウリング大会というスケジュールでした。
ボウリングはレベルの高い試合でした。

<結果>

団体戦: 1位京都、2位広島

最秀賞: 吉川

総合ハイゲーム賞: 福島

手話奉仕員養成講座・基礎課程スタート

8月2日(木)から昼の部は中央福祉センター、夜の部ははーとぴあ清水で手話奉仕員養成講座・基礎課程が始まりました。

実技講師は下記の通りです。

昼の部: 筑地直・海野江・大塩進・高橋法・高橋稔・黒沢・古井

夜の部: 小泉・三津山・森崎・石井・山本直・大村

5月から始まった入門課程の次の課程で、より実践的な内容となっています。

入門課程と同じく講師1人につき受講生10人程度と、講師の力量が問われていますが、楽しく手話を学びながら手話通訳者を目指して欲しいと思っています。

聴覚障害者のための手話講習会

9月6日(木)から中央福祉センターで聴覚障害者のための手話講習会が始まりました。

実技講師は下記の通りです。

昼の部: 海野江・古井

夜の部: 三津山・山本直

静岡市の事業で難聴者、中途失聴者、ろう学校の子供に手話を覚えてもらおうと10年前から始めてきました。

この講習会をきっかけにろう協に入会した人もいます。

手話で通じ合える楽しさを知ってもらい、聞こえない仲間として共に活動していけるよう指導しています。

蒲原地区手話サークルへの講師派遣について

蒲原地区の手話サークルはろう協の会員がいないため、富士川町の会員が応援として出向いている状況です。

月に1回で良いので交代でサークルに来て欲しいという要望があったため、ろう協としては月に1回、交代でろう協の会員を派遣することにしました。

役員を中心に派遣しますが、一般会員の協力が必要ですので希望者はろう協役員までお知らせ下さい。

蒲原地区の手話サークルの活動状況は下記の通りです。

- ・かえでハンズ 毎週水曜日 10:00～12:00 白銀すこやかセンター
- ・波の子会 毎週火曜日 19:30～20:45 白銀すこやかセンター

ろうあ者相談員の交代について

静岡市役所で行っているろうあ者相談事業の相談員が10月から亀山さんから石垣さんに交代することになりました。

手話通訳コーディネータの交代について

静岡市が行っている手話通訳派遣制度の手話通訳コーディネーターはこれまで登録手話通訳者の鈴木豊子さんが担当していましたが、10月から来年3月まで同じく登録手話通訳者の望月親さんが担当することになりました。

平成19年度特別基金助成金に助成決定

杉山茂特別基金助成金に応募し、書類審査で40団体のうち15団体が選考されました。7/19(木)の説明会で小泉会長の熱弁により、プロジェクトの必要性を認められたのか、助成されることになりました。

静岡市ろうあ協会として、プロジェクト・スクリーン(計178,500円)を所有することになります。

原稿募集

団体の動き、話題、会員消息、問題提起など、
どんどん原稿を出して下さい。

☆締切日 12月8日

☆投稿先

FAX 054-334-8766

Eメール gdeh_tree3@yahoo.co.jp

機関紙担当 森 匡之

※次回発行(3号)は、1月8日の予定

編集後書き

前回スタートした機関紙も今回で2回目の発行となりました。

なかなかネタが集まらずに苦勞する時がありますが、会員に一つでも多くの情報が行き渡るように機関紙のねたを幅広く考えていきたいです。

また、原稿等もお待ちしています。(連絡先は左枠参照。)

総務部員・機関紙担当 森 匡之

政令指定都市身体障害者福祉団体協議連絡協議会に初めて参加した感想

9月1日から2日まで広島において、静岡市身体障害者団体連合会が政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会に参加しました。今年初めて静岡市ろうあ協会から3名（小泉会長・吉川体育部長・ボウリング部代表福島さん）が参加しました。

1日目の午後1時から政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会で式典を行いました。

参加者は各市団体代表者だけ参加しました。ろう協は私だけでした。吉川君と福島さんは自由行動で広島公園へ行ったそうでした。うらやましいなあと思いました。

式典の様子は立派な様子でした。政令指定都市身体障害者福祉団体連絡会のシンボルマーク（写真の通り）を初めて見ました。

いつもの通り、会長挨拶とか来賓祝辞などを行いました。会長の挨拶の中に「今全国で政令指定都市になった市は全部で17市です。」と話がありました。

（クイズ）17市と言え、どこの市でしょうか？

↑答えは次の号に載せます。当ててみてください。

その後各障害者の分科会を分けて議論しました。

私は聴覚障害者部会に参加して各市ろうあ協会の会長だけ集まって議論しました。各市から1つずつ提案を出して皆と一緒に議論して承認した後、国に対して要望を出すらしいです。よく分からなくてすみません。静岡市からの提案を出せなかった。昨年合併してばかりでどうすればよいのかわからないので、今年提案の内容と議論の様子等を参考して市ろう協の役員会で提案の内容を議論して来年度で出したいと思っています。

分科会が終わった後、全体会で各分科会の内容を報告会を行いました。

しばらくして夜6時半からスポーツ大会の開会式を行った後パーティーを行いました。会場では結婚式みたいで豪華な料理が出ておいしい御馳走しました。他の障害者方はほとんどカラオケばかりで歌いながら盛り上げていました。ろうあ者方は聞こえないので無視して食べたり飲んだりしていました。

しばらく経って地元の広島ろうあ協会の担当者がろうあ者だけ呼びかけて別の店へ行って改めてパーティーを行いました。各市の状況等を情報交換が出来て良かったと思いました。静岡市と他の市と比べると差があったと思いました。市ろう協で各区支部（ろうあ部）の組織で活動している様子だった。

手話通訳者の設置の身分とか非常勤務とかいろいろな面がいい方だった。

静岡市はもっと行政に対して要望運動が必要だと思いますがなかなか難しい状況です。真面目な話とかユーモア話と様々話して盛り上げました。楽しい

交流が出来て良かったと思いました。

2日目スポーツ大会を行いました。私は応援として参加しましたが、朝から午後3時半までボウリング会場の中だけずっといて本当に退屈でした。試合中で外へ出てお好み焼きを食べようと思ったら店もない。家ばかりで諦めた。

静岡市として初めて福島さんは男子ハイゲーム賞を獲得し、吉川君は各市チームの内に一人ずつ優秀選手賞を獲得しました。福島さんと吉川君に対して本当におめでとうございました。

来年度の開催地は名古屋市です。スポーツ大会だけ中止となります。再来年からはスポーツ大会をやるどうかはわかりません。

これから毎年参加するようにしたいと思っています。福島さんと吉川君が参加して下さい本当にありがとうございました。良い思い出になりました。

会長 小泉 秀力

参加しての感想

9月1日～2日、第48回政令指定都市身体障害者福祉団体連絡協議会及び第40回政令指定都市身体障害者親善スポーツ大会に静岡市身体障害者が初めて広島市で参加しました。夜6時からスポーツ大会の開会式ですので、その時間まであるので広島公園へ見に行きました。広島公園へ行ったのは2回目です。帰るときにすごく混んでいました。広島球場ではプロ野球の試合で入場者が並んでいました。

夜6時半から始まってパーティーをしました。おいしい御馳走を食べました。途中でろうあ者の仲間だけ集まって別の店へ行って飲み会で楽しい交流が出来て良かったと思いました。



2日目朝早く起きて朝食を済ませて広島駅の近くのホテル前に朝7時半に集合し、シャトルバスに乗ってボウリング場（ミスズボウル）へ行きました。思ったより遠かった。40分位かかりました。

ようやく着きました。朝9時から開会式をして9時半から競技が始まりました。6ゲームで無事に終わりました。終わる時間より遅れて3

時半に閉会式をしました。結果は優秀選手賞をもらいました。私だけでなく各市から1名ずつ賞をもらいました。初めて参加をして賞をもらえてとても嬉しかった。

来年も参加したい気持ちでした。来年は名古屋市で政令指定都市身体障害

者福祉団体連絡協議会だけ行うことになりました。政令指定都市身体障害者親善スポーツ大会は来年は中止ですが、2年後はどうなるかはわかりません。この大会で楽しい思い出になりました。ありがとうございました。

吉川 尚志

静岡市が政令指定都市になったため、障害者団体も政令指定都市身体障害者福祉団体協議会に加盟しました。

今年で協議会は48回目、スポーツ大会は40回目になります。

1日目の午後からは聴覚の部会に小泉会長が出席しました。分科会は肢体・視覚・聴覚・難聴覚・内部等分けて討論しました。私と吉川君は別行動でした。

スポーツ大会では昭和33年から平成12年まではソフトボール大会をやったそうでした。その後ソフトボール大会を変更してボウリング大会になりました。ボウリング大会は団体戦だけでした。1チーム10名で各障害者から2名ずつ出場しなければなりません。1人6ゲーム、アメリカ方式でJBCルールを採用と決まっています。

聴覚障害者は私と吉川君が選手として参加しました。小泉会長は応援で参加しました。

他の選手はほとんどマイボウルとマイジューズを持っている人が多かった。車イスの人はノンプロみたいで投げる人がいました。すごかった。

聴覚障害者の選手方は全国のレベルと同じ位の強さでした。

競技の結果は団体戦で静岡市が最下位でした。しかし私は男子ハイゲーム（HG賞）244点で賞を獲得しました。吉川君は各市から1名ずつ優秀選手賞を獲得しました。

来年・再来年も静岡市チームで優勝を取りたいと思います。

各市の聴覚障害者の選手は全国大会のレベルで持っていますので、やはり静岡市ろうあ協会のボウリング部員しかないと思いました。

交流会に静岡市の役員たちと選手たちも参加しました。

ボウリング大会の開会式で昨年優勝した大阪チームから優勝旗と優勝杯の返還をしてレプリカ贈呈を行った後、イベントしてパーティーを行いました。

会場では結婚式みたいなパーティーで豪華な食事でビックリしました。楽しい2日間でした。

福島 邦夫